

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位	5	単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	3年	1組	
使用教科書	BIG DIPPER English CommunicationⅢ					
使用副教材	キクタンbasic, キクタンadvanced, Next Stage, 共通テストリスニングプレ					

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<b>学習目標</b> ：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。
<b>学習内容</b> ：この科目で学習する大まかな内容 ア. 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。 イ. 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。
<b>学習方法</b> ：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1)学校 小テストで全力を尽くす。友人と学びを深める。  (2)家庭 コツコツと積み上げる。

# 3 この科目の評価方法について

<b>評価方法</b> ：何を使って評価するのか 定期考査60%、単語テスト10%、提出物20%、授業態度10%
評価における定期考査の割合 60 %

# 4 この科目の評価の観点について

<b>評価の観点</b> ：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか (1)関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。  (2)思考・判断 英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。  (3)技能・表現 英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。  (4)知識・理解 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
---

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
1	4	Lesson 1 The History of Ekiben	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本独自の食文化—駅弁</li> <li>・言い換え表現</li> </ul>	○	○	○	○	
		Lesson 2 Three tips for Maintaining a Conversation	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な会話をする力、会話を続けるコツとは</li> <li>・追加、列挙</li> </ul>	○	○	○	○	
		Lesson 3 Do You Judge People by Their Blood Types?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人はなぜ性格診断や占いを信じてしまうのか</li> <li>・言い換え表現</li> </ul>	○	○	○	○	
	5	Lesson 4 My Opinion of Zoos	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「動物園の是非」に関する賛成・反対それぞれの主張。</li> <li>・討論でよく使う表現</li> </ul>	○	○	○	○	
		Lesson 5 The 55-Year Race	<ul style="list-style-type: none"> <li>・55年もかけてオリンピックのゴールをはたした、日本マラソンの父、金栗四三</li> <li>・時間的順序</li> </ul>	○	○	○	○	
		Lesson 6 After the Flowers	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植物が行う生存戦略，タンポポ，オオバコ，スミレの例を紹介</li> <li>・因果関係</li> </ul>	○	○	○	○	
		第1回定期考査						
	6	Lesson 7 Online Word-of-Mouth	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランの口コミ情報サイトから，必要な情報を読みとる</li> <li>・スキヤニング</li> </ul>	○	○	○	○	
		Lesson 8 Kintsugi	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の「もったいない精神」を体現した伝統的技術 — 金継ぎのすばらしさ</li> <li>・対比</li> </ul>	○	○	○	○	
		Lesson 9 Alfred Nobel: A Person of Peace	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「死の商人」と言われたダイナマイト発明者は，何を思ってノーベル賞をつくったのか</li> <li>・譲歩</li> </ul>	○	○	○	○	
		Lesson 10 Art on Display	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の案内文から，展示内容，営業時間，料金など必要な情報を読み取る</li> <li>・スキヤニング</li> </ul>	○	○	○	○	
		Lesson 11 Keys to Winning	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本番で実力を発揮する方法を，スポーツ心理学や脳科学の観点から紹介</li> </ul>	○	○	○	○	
	7	Lesson 12 She Sells Seashells by the Seashore	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レッスンタイトルの早口ことばのモデルとなった，化石を発見した少女メアリー・アニング</li> </ul>	○	○	○	○	
第2回定期考査								
		Lesson 13 A New Orchestra and a New Harmony	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ捨て場の廃棄物からつくった楽器で演奏する，パラグアイのユニークなオーケストラ</li> <li>・新聞記事を読むために</li> </ul>	○	○	○	○	

2	8	Lesson 14 Swimwear for Speed	・努力か水着か — 最新技術を駆使した競泳水着が記録に与える影響	○	○	○	○
		Lesson 15 The Immortal Jellyfish	・多細胞生物で最初に発見された不死の生き物, ベニクラゲについて	○	○	○	○
		Lesson 16 Antarctica by Cruise Ship	・南極クルージングの広告から, 旅行日程・航路・ツアー内容を読み取る	○	○	○	○
	9	Lesson 17 The Shoe That Grows	・靴がなくて学校に行けないケニアの子どもたちのために開発された“成長する”靴	○	○	○	○
		Lesson 18 Let' s Try English Presentations!	・急増する訪日外国人客数について, 高校生のミキが英語でプレゼンテーションをする	○	○	○	○
	10	第3回定期考査					
		Lesson 19 Bottled Water? No Water?	・飲み水が確保できない国がある一方で, 先進国は高価なボトル飲料水を生産し消費し続けている	○	○	○	○
Lesson 20 Endangered Languages		・消滅の危機に瀕している世界の言語、日本ではアイヌ語などについて	○	○	○	○	
11	Lesson 21 Left in Space	・地球の周回軌道に放置されている宇宙ゴミは、どのように発生したのか	○	○	○	○	
	共通テスト対策演習						

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	コミュニケーションⅢ	単位	4 単位
対象コース	スーパーカレッジ アクティブカレッジ	コース	対象クラス	3 年	2 組
使用教科書	BIG DIPPER English CommunicationⅡ・Ⅲ（数研出版）				
使用副教材	キクタンBasic4000（アルク出版）、BIG DIPPER English CommunicationⅡ・Ⅲワークブック（数研出版）、Next Stage 英文法・語法問題 [4th Edition]（桐原書店）				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p><b>学習目標：</b>この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱでは4技能を統合的に伸ばすために、受身で情報を得るだけではなく、発話やライティングを通して発信することが求めてきた。またⅡでは目的に応じて読み方を変えたり、よりまとまった量の文章を書いたりしてきた。このコミュニケーション英語Ⅲでは今までの学習体験を踏まえて、コミュニケーションに活用できる基本的なスキル勢を習得することを目指す。</p>
<p><b>学習内容：</b>この科目で学習する大まかな内容</p> <p>学習指導要領の「外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」に鑑み、より英語を用いて生徒が活動をする授業を目指す。音読から、英作文などを行い、使える語彙やフレーズを増やすことを目指す。また本文の内容を規定語数で要約したり、書いたものをもう一段高いレベルでの発信に繋げたりする。</p>
<p><b>学習方法：</b>この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 予習内容をクラスメイトと共有し、疑問点を解決する。声に出して練習をする。</p> <p>(2) 家庭 予習：キクタン、Next Stageの小テストに向けた対策。授業のプレゼンテーション関連の準備等。 復習：教科書の理解、キクタン、Next Stageを理解するための作業。</p>

# 3 この科目の評価方法について

<p><b>評価方法：</b>何を使って評価するのか</p> <p>定期考査60%、単語テスト20%、提出物10%、授業態度10%</p>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>60 %</p>

# 4 この科目の評価の観点について

<p><b>評価の観点：</b>この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>(2) 思考・判断 英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなどを的確に理解し、判断している。</p> <p>(3) 技能・表現 英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。</p> <p>(4) 知識・理解 英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</p>
---

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
4		Lesson 3 How Good Is Your Memory?	さまざまな暗記方法や脳と暗記の関係などに関する英文を読み、昔から伝わる知識や現在の科学的な考察について学ぶ。加えて、不定詞、関係代名詞の継続用法等を意識しながら読み、ものごとの手順やその具体例について英語で説明することができるようにする。	○		○		
		Lesson 4 Space Elevator	「宇宙エレベーター」の原理や課題点に関する記事や対話文を読み、科学・テクノロジーの発達について考えさせる。加えて、仮定法過去、関係副詞whereの継続用法、未来進行形を意識しながら読み、会話文特有の表現を使うことができるようにする。また、英語の記事の読み方を学ぶ。			○	○	
5		Lesson 5 Diversity Brings New Products	多様な人材から生まれる新製品の開発に関する英文を読み、多様な視点を尊重することの大切さを学ぶ。加えて、動名詞の意味上の主語、関係代名詞の継続用法、助動詞+have+過去分詞、完了不定詞を意識しながら読み、物の機能や特徴を比較・対照しながら英語で説明することができるようにする。	○		○		
		Lesson 6 Ueno Takahiro: The Dancer in Me	世界的なダンサーである上野隆博さんの若いころの苦労や成功に関する英文を読み、挑戦すること・職業について考えることの大切さを学ぶ。加えて、SVOC(C=過去分詞)、仮定法過去完了、分詞構文を意識しながら読み、個人的な経験や感情を伝える表現が使えるようにする。	○	○			
6		Lesson 7 The France Okaeshi Project	カキの養殖にまつわる日本とフランスの交流に関する英文を読み、自国・他国の文化を理解し、誇りと敬意をもつことの大切さを学ぶ。加えて、仮定法<as if+S'+仮定法><If+S'+were to~>, if-節に代わる表現を意識しながら読み、作業や活動を順序立てて英語で説明できるようにする。また、スキミングや未知語の推測について学ぶ。	○		○		
		Lesson 8 What Is the True Meaning of Mottainai?	自然環境にとって良い／悪い定評がある事項を検証する英文を読み、客観的に検証・考察することの大切さを学ぶ。加えて、進行形の受動態、省略、形式目的語 it、現在/過去完了進行形を意識しながら読み、「主張と理由づけ」の表現を用いて自分の意見を英語で発表できるようにする。	○		○		
8		Lesson 1 The History of Ekiben	日本独自の食文化 — 旅情を演出する駅弁の歴史	○	○			
		Lesson 2 Three Tips for Maintaining a	社会生活で必要な会話をする力、会話を続ける3つのコツとは	○		○		
10		Lesson 3 Do You Judge People by Their Blood Types?	人はなぜ性格診断や占いを信じてしまうのか、「バーナム効果」とは			○	○	
		Lesson 4 My Opinion of Zoos	「動物園の是非」に関する賛成・反対それぞれの主張	○		○		
12		Lesson 5 The 55-Year Race	55年もかけてオリンピックのゴールをはたした、日本マラソンの父、金栗四三	○	○			

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位	4 単位
対象コース	カレッジ(C)	コース	対象クラス	3 年	3~4 組
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication II (KEIRINKAN)				
使用副教材	キクタンBasic4000 (アルク出版)、Next Stage 英文法・語法問題 [4th Edition] (桐原書店)				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

**学習目標：**この科目を学習して何を身につけてほしいのか

コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱでは4技能を統合的に伸ばすために、受身で情報を得るだけでなく、発話やライティングを通して発信することが求めてきた。またⅡでは目的に応じて読み方を変えたり、よりまとまった量の文章を書いたりしてきた。このコミュニケーション英語Ⅲでは今までの学習体験を踏まえて、コミュニケーションに活用できる基本的なスキル勢を習得することを目指す。

**学習内容：**この科目で学習する大まかな内容

学習指導要領の「外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」に鑑み、より英語を用いて生徒が活動をする授業を目指す。音読から、英作文などを行い、使える語彙やフレーズを増やすことを目指す。また本文の内容を規定語数で要約したり、書いたものをもう一段高いレベルでの発信に繋げたりする。

**学習方法：**この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

- ・音読をはじめとする活動に積極的に参加する。
- ・文章を的確に理解し、自分の言葉で要約する。

(2) 家庭

- ・文章をあらかじめ読んでおき、予習プリントに取り組む。
- ・課題に真面目に取り組む。

# 3 この科目の評価方法について

**評価方法：**何を使って評価するのか

- ・定期考査：全5回の考査でそこまでの理解度を見る。(60%)
- ・提出物：定期的に出される課題をこなし、期日に確認する。(20%)
- ・小テスト：毎週初回の授業で単語テストを実施し、語彙の定着を見る。(10%)
- ・参加姿勢：授業へ取り組む姿勢や、英語を使ってコミュニケーションをしようという積極性を見る。(10%)

評価における定期考査の割合

60 %

# 4 この科目の評価の観点について

**評価の観点：**この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ること  
(授業への参加として評価)

(2) 外国語表現の能力

自分の知識や意見を英語で伝えることができること、  
また他の学習者のものも理解することができること (授業への参加として評価)

(3) 外国語理解の能力

英語を使って、積極的に表現し、またその技能を洗練させるための努力を継続的にしていること  
(課題提出、授業への参加として評価)

(4) 言語や文化についての知識・理解

一定期間に学習した内容をきちんと理解し、有形無形的手段で表現できること  
(定期考査、小テストの成績として評価)

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK		
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	表	理	知	○△×	
1	4	Lesson 1 I'm the Strongest!	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすテニス選手の国枝慎吾氏の話を読み、彼の活躍について理解する。</li> <li>・ifを使用した間接疑問を使用して、表現活動を行う。</li> <li>・障がいを持った人々の活躍や支援の仕方について意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○		
	5	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線の清掃担当業者の話を読んで、彼らの取り組みが成功した理由について理解する。</li> <li>・形式目的語を含む文を用いて表現活動を行う。</li> <li>・よりよい「仕事」をどのように提供できるか、意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○		
		第1回考査						○	
	6	Lesson 3 Saint Bernard Dogs	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スイスでのセントバーナード犬が救助犬として活躍してきた歴史や、瀕した問題について理解する。</li> <li>・補語が分詞の文を用いて表現活動を行う。</li> <li>・アニマルライツについて意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○		
2		Lesson 4 Chanel's Style	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャネルがファッション業界に与えてきた影響について理解する。</li> <li>・関係詞の非制限用法を用いて、表現活動を行う。</li> <li>・時代を変革した人物について意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○		
		第2回考査						○	
	7	Lesson 5 Science of Love	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が他人を愛する理由に関する3つの理論をそれぞれ理解する。</li> <li>・様々な従属節を含む文を用いて表現活動をする。</li> <li>・3つの理論を基に、それぞれが考えたことをまとめる。</li> </ul>	○	○	○	○		
	8	Lesson 6 Gaudi and His Messenger	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サグラダ・ファミリアの建築の歴史と、それに携わる日本人の動機について理解する。</li> <li>・分詞構文を用いて表現活動をする。</li> <li>・ものを作ることにおける心構えについて意見交換をする。</li> </ul>	○	○	○	○		
		第3回考査						○	
2	10	Lesson 7 Letters from a Battlefield	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硫黄島での戦闘の様子や、兵士たちが家族にあてた手紙の内容を理解する。</li> <li>・複合関係詞を含む文を用いて表現活動をする。</li> <li>・課を通して読み、感じたことを意見交換する。</li> </ul>	○	○	○	○		

	11	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸の町で日常的に行われていたリサイクル活動について理解する。</li> <li>使役動詞や完了形の不定詞を含む文を用いて表現活動をする。</li> <li>江戸で行われていたことで、現在でも取り組めそうなことについて意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○	
		第4回考査						○
3	12 1	Lesson 9 AI and Our Future	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工知能の発達に伴う利点と、将来起こり得る問題について理解する。</li> <li>仮定法を用いた文で表現活動をする。</li> <li>人工知能をうまく活用し、共存していく方法について意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○	○
				○	○	○	○	

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位	3	単位
対象コース	情報ビジネス	コース	対象クラス	3年	5組	
使用教科書	LANDMARK Fit English CommunicationⅡ (KEIRINKAN)					
使用副教材	新ユメタン					

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

**学習目標：**この科目を学習して何を身につけてほしいのか  
 コミュニケーション英語Ⅰでは4技能を統合的に伸ばすために、受身に情報を得るだけでなく、発話やライティングを通して発信することが求めてきた。またⅡでは目的に応じて読み方を変えたり、よりまとまった量の文章を書いたりしてきた。このコミュニケーション英語Ⅱでは今までの学習体験を踏まえて、コミュニケーションに活用できる基本的なスキルを習得することを目指す。

**学習内容：**この科目で学習する大まかな内容  
 学習指導要領の「外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」に鑑み、より英語を用いて生徒が活動をする授業を目指す。音読から、英作文などを行い、使える語彙やフレーズを増やすことを目指す。また本文の内容を規定語数で要約したり、書いたものをもう一段高いレベルでの発信に繋げたりする。

**学習方法：**この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか  
 (1) 学校  
 ・音読をはじめとする活動に積極的に参加する。  
 ・文章を的確に理解し、自分の言葉で要約する。  
 (2) 家庭  
 ・文章をあらかじめ読んでおき、予習プリントに取り組む。  
 ・課題に真面目に取り組む。

# 3 この科目の評価方法について

**評価方法：**何を使って評価するのか  
 ・定期考査：全4回の考査でそこまでの理解度を見る。(60%)  
 ・提出物：定期的に出される課題をこなし、期日に確認する。(20%)  
 ・小テスト：毎週初回の授業で単語テストを実施し、語彙の定着を見る。(10%)  
 ・参加姿勢：授業へ取り組む姿勢や、英語を使ってコミュニケーションをしようという積極性を見る。(10%)

評価における定期考査の割合

60 %

# 4 この科目の評価の観点について

**評価の観点：**この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか  
 (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度  
 英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ること(授業への参加として評価)  
 (2) 外国語表現の能力  
 自分の知識や意見を英語で伝えることができること、また他の学習者のものも理解することができること(授業への参加として評価)  
 (3) 外国語理解の能力  
 英語を使って、積極的に表現し、またその技能を洗練させるための努力を継続的にしていること(課題提出、授業への参加として評価)  
 (4) 言語や文化についての知識・理解  
 一定期間に学習した内容をきちんと理解し、有形無形の手段で表現できること(定期考査、小テストの成績として評価)

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点			CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	表	理	知	○△×
2	4	Lesson 1 I'm the Strongest!  第2回考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすテニス選手の国枝慎吾氏の話を読み、彼の活躍について理解する。</li> <li>・ifを使用した間接疑問を使用して、表現活動を行う。</li> <li>・障がいを持った人々の活躍や支援の仕方について意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○	
	7	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle  第3回考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幹線の清掃担当業者の話を読んで、彼らの取り組みが成功した理由について理解する。</li> <li>・形式目的語を含む文を用いて表現活動を行う。</li> <li>・よりよい「仕事」をどのように提供できるか、意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○	
	8			○		○	○	
	10	Lesson 4 Chanel's Style  第4回考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャネルがファッション業界に与えてきた影響について理解する。</li> <li>・関係詞の非制限用法を用いて、表現活動を行う。</li> <li>・時代を変革した人物について意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○	
11	○				○	○		
3	12	Lesson 5 Science of Love	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が他人を愛する理由に関する3つの理論をそれぞれ理解する。</li> <li>・様々な従属節を含む文を用いて表現活動をする。</li> <li>・3つの理論を基に、それぞれが考えたことをまとめる。</li> </ul>	○		○	○	
	1			○		○	○	

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	コミュニケーション英語Ⅱ	単位	2 単位
対象コース	美術コース	コース	対象クラス	3 年	6 組
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication II (KEIRINKAN)				
使用副教材	キクタンBasic4000 (アルク出版)、Next Stage 英文法・語法問題 [4th Edition] (桐原書店)				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p><b>学習目標：</b>この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>コミュニケーション英語Ⅰでは4技能を統合的に伸ばすために、受身で情報を得るだけではなく、発話やライティングを通して発信することが求めてきた。またⅡでは目的に応じて読み方を変えたり、よりまとまった量の文章を書いたりしてきた。このコミュニケーション英語Ⅱでは今までの学習体験を踏まえて、コミュニケーションに活用できる基本的なスキルを習得することを目指す。</p>
<p><b>学習内容：</b>この科目で学習する大まかな内容</p> <p>学習指導要領の「外国語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」に鑑み、より英語を用いて生徒が活動をする授業を目指す。音読から、英作文などを行い、使える語彙やフレーズを増やすことを目指す。また本文の内容を規定語数で要約したり、書いたものをもう一段高いレベルでの発信に繋げたりする。</p>
<p><b>学習方法：</b>この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読をはじめとする活動に積極的に参加する。</li> <li>・文章を的確に理解し、自分の言葉で要約する。</li> </ul> <p>(2) 家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章をあらかじめ読んでおき、予習プリントに取り組む。</li> <li>・課題に真面目に取り組む。</li> </ul>

# 3 この科目の評価方法について

<p><b>評価方法：</b>何を使って評価するのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査：全5回の考査でそこまでの理解度を見る。(60%)</li> <li>・提出物：定期的に出される課題をこなし、期日に確認する。(20%)</li> <li>・小テスト：毎週初回の授業で単語テストを実施し、語彙の定着を見る。(10%)</li> <li>・参加姿勢：授業へ取り組む姿勢や、英語を使ってコミュニケーションをしようという積極性を見る。(10%)</li> </ul>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>60 %</p>

# 4 この科目の評価の観点について

<p><b>評価の観点：</b>この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ること(授業への参加として評価)</p> <p>(2) 外国語表現の能力 自分の知識や意見を英語で伝えることができること、また他の学習者のものも理解することができること(授業への参加として評価)</p> <p>(3) 外国語理解の能力 英語を使って、積極的に表現し、またその技能を洗練させるための努力を継続的にしていること(課題提出、授業への参加として評価)</p> <p>(4) 言語や文化についての知識・理解 一定期間に学習した内容をきちんと理解し、有形無形の手段で表現できること(定期考査、小テストの成績として評価)</p>
---

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	表	理	知	○△×	
1	4	Lesson 1 I'm the Strongest!	<ul style="list-style-type: none"> <li>車いすテニス選手の国枝慎吾氏の話を読み、彼の活躍について理解する。</li> <li>ifを使用した間接疑問を使用して、表現活動を行う。</li> <li>障がいを持った人々の活躍や支援の仕方について意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○		
	5	Lesson 2 Tokyo's Seven-minute Miracle	<ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線の清掃担当業者の話を読んで、彼らの取り組みが成功した理由について理解する。</li> <li>形式目的語を含む文を用いて表現活動を行う。</li> <li>よりよい「仕事」をどのように提供できるか、意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○		
		第1回考査						○	
	6	Lesson 3 Saint Bernard Dogs	<ul style="list-style-type: none"> <li>スイスでのセントバーナード犬が救助犬として活躍してきた歴史や、瀕した問題について理解する。</li> <li>補語が分詞の文を用いて表現活動を行う。</li> <li>アニマルライツについて意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○		
2		Lesson 4 Chanel's Style	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャネルがファッション業界に与えてきた影響について理解する。</li> <li>関係詞の非制限用法を用いて、表現活動を行う。</li> <li>時代を変革した人物について意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○		
		第2回考査						○	
	7	Lesson 5 Science of Love	<ul style="list-style-type: none"> <li>人が他人を愛する理由に関する3つの理論をそれぞれ理解する。</li> <li>様々な従属節を含む文を用いて表現活動をする。</li> <li>3つの理論を基に、それぞれが考えたことをまとめる。</li> </ul>	○		○	○		
	8	Lesson 6 Gaudi and His Messenger	<ul style="list-style-type: none"> <li>サグラダ・ファミリアの建築の歴史と、それに携わる日本人の動機について理解する。</li> <li>分詞構文を用いて表現活動をする。</li> <li>ものを作ることにおける心構えについて意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○		
	第3回考査							○	
2	10	Lesson 7 Letters from a Battlefield	<ul style="list-style-type: none"> <li>硫黄島での戦闘の様子や、兵士たちが家族にあてた手紙の内容を理解する。</li> <li>複合関係詞を含む文を用いて表現活動をする。</li> </ul>	○		○	○		

			<ul style="list-style-type: none"> <li>課を通して読み、感じたことを意見交換する。</li> </ul>	○	○	○		
	11	Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸の町で日常的に行われていたリサイクル活動について理解する。</li> <li>使役動詞や完了形の不定詞を含む文を用いて表現活動をする。</li> <li>江戸で行われていたことで、現在でも取り組めそうなことについて意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○	
		第4回考査						○
3	12 1	Lesson 9 AI and Our Future	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工知能の発達に伴う利点と、将来起こり得る問題について理解する。</li> <li>仮定法を用いた文で表現活動をする。</li> <li>人工知能をうまく活用し、共存していく方法について意見交換をする。</li> </ul>	○		○	○	
				○	○	○		

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位	2 単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3 年	1 組
使用教科書	VISION QUEST English Expression II Hope (啓林館)				
使用副教材	VISION QUEST Work book(啓林館) , Next Stage (東京書籍)				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p><b>学習目標：</b>この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。</p>
<p><b>学習内容：</b>この科目で学習する大まかな内容</p> <p>情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するよう、具体的な言語の使用場面を設定し、即興で話したり、様々な種類の文章を書いたり、学んだことや経験したことを基にして事実や考えを発表したり、それに対する意見を述べあったりする。</p>
<p><b>学習方法：</b>この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 様々な表現方法を身につけ、練習問題で定着させる。また、即興の英作文や与えられた主題について即興で話せるよう、語彙等を習得する。</p> <p>(2) 家庭 学んだことを実際に英作文で書いてみる。また、授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより、表現の幅を広げる。</p>

# 3 この科目の評価方法について

<p><b>評価方法：</b>何を使って評価するのか</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 査得点 (60%) 年4回の査の得点に基づく。</li> <li>2. 提出物 (20%) 定期的な課題の提出状況に基づく。</li> <li>3. 小テスト (10%) レッスンごとに行われる小テストの点数に基づく。</li> <li>4. 授業態度 (10%) 普段の授業での各活動への参加状況に基づく。</li> </ol>
<p><b>評価における定期査の割合</b></p> <p>60 %</p>

# 4 この科目の評価の観点について

<p><b>評価の観点：</b>この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>(2) 外国語表現の能力 外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。</p> <p>(3) 外国語理解の能力 外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。</p> <p>(4) 言語や文化についての知識・理解 外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。</p>
--

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	コ	表	理	知	○△×
1	4	lesson 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二択で好みを尋ねたり、一番であるものを尋ねたりする。</li> <li>・犬と猫の特徴をまとめ、好きな方を理由とともに英文にまとめる。</li> <li>・比較表現を学ぶ。</li> </ul>	○	○	○	○	
	5	Grammar focus	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な否定の形と部分否定を学ぶ。</li> </ul>		○		○	
		第1回定期考査						
		Part1 Lesson 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つながりの言葉 列挙・順列</li> </ul>	○	○	○	○	
	6	ロボットの有用性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例示・追加 例を挙げたり、具体的な情報を加えて説明をする。</li> </ul>					
		Lesson 2 英語を学ぶ意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較・対照 2つ以上のものを比較して、相違点や類似点を述べる。</li> </ul>					
	7	Lesson 3 都会と田舎						
		第2回定期考査						
	8	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原因・理由・結果 因果関係を学ぶ。</li> </ul>	○	○	○	○	
	9	若者の本離れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要点・要約 要約の方法を学ぶ。</li> </ul>	○	○	○	○	
2	10	演習を行う。						

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位	2	単位
対象コース	スーパーカレッジ アクティブカレッジ	コース	対象クラス	3年	2組	
使用教科書	VISION QUEST English Expression II Hope (啓林館)					
使用副教材	VISION QUEST Work book(啓林館) , Next Stage (東京書籍)					

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p><b>学習目標</b>：この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。</p>
<p><b>学習内容</b>：この科目で学習する大まかな内容</p> <p>情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するよう、具体的な言語の使用場面を設定し、即興で話したり、様々な種類の文章を書いたり、学んだことや経験したことを基にして事実や考えを発表したり、それに対する意見を述べあったりする。</p>
<p><b>学習方法</b>：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 様々な表現方法を身につけ、練習問題で定着させる。また、即興の英作文や与えられた主題について即興で話せるよう、語彙等を習得する。</p> <p>(2) 家庭 学んだことを実際に英作文で書いてみる。また、授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより、表現の幅を広げる。</p>

# 3 この科目の評価方法について

<p><b>評価方法</b>：何を使って評価するのか</p> <p>定期考査60%、単語テスト20%、提出物10%、授業態度10%</p>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>60 %</p>

# 4 この科目の評価の観点について

<p><b>評価の観点</b>：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) 関心・意欲・態度 コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>(2) 思考・判断 英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなどを的確に理解し、判断している。</p> <p>(3) 技能・表現 英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。</p> <p>(4) 知識・理解 英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。</p>
---

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	コ	表	理	知	○△×
1	4	Lesson 1 主語を決める You have several traditional events.	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な主語の作り方を学び、表現方法を増やす。</li> <li>日本の伝統行事について紹介する英作文をする。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○	○	
	5	Grammar Focus 1 名詞と冠詞  (第1回考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な名詞や冠詞の特性を知り、適切に使えるようにする。</li> </ul>		○		○	
	6	Lesson 2 動詞を決める① How did your work experience go?	<ul style="list-style-type: none"> <li>動詞による文の構成の違いを知り、適切に使用できるようになる。</li> <li>自分が参加したクラブ活動や課外活動の感想を英語で書く。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
		Lesson 3 動詞を決める② Let me tell you a story.	<ul style="list-style-type: none"> <li>使役などの動詞の応用を学び、適切に使えるようにする。</li> <li>与えられた絵と書き出しに続けて英作文を行う。また、他者に向けて分かりやすいように読む。</li> </ul>			○		○
2	8	Grammar Focus 2 主語と動詞の呼応 時制の一致	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語表現により変わる動詞や、主節の動詞による従属節の表現の変化を学ぶ。</li> </ul>		○		○	
		Lesson 4 動詞の形を決める① I want to work as an air traffic controller.	<ul style="list-style-type: none"> <li>結果として同じ日本語表現になる英語を自分の伝えたいことに応じて使い分けられるようになる。</li> <li>自分の将来の夢について書けるようになる。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
	10	(第3回定期考査) Lesson 5 動詞の形を決める② I wish I could have such an experience again.	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞や仮定法を用いて、主観的な考えの表現を学ぶ。</li> <li>事実とは異なることについて英作文をする。また、それについての他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
	11	Grammar Focus 3 受動態  (第4回考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>能動態との違いや、日本語の受動態に対応する英訳のやり方などを学ぶ。</li> </ul>		○		○	
	12	Lesson 6 修飾語を加える① This is a photo taken in Vancouver, Canada.	<ul style="list-style-type: none"> <li>修飾語となる表現や関係施設について学び、適切に使えるようになる。</li> <li>自分の思い出の写真について英作文をする。また、それについての他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
		Lesson 7 修飾語を加える② Are cell phones an essential part of our lives?	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な副詞句や副詞節を学び、適切に使い分けられるようになる。</li> <li>スマートフォンをはじめとする情報端末の長所と短所について英作文をする。また、それについて、他者と意見を交換する。</li> </ul>	○	○	○		
3	1							

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位	2	単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	3年	3~4組	
使用教科書	VISION QUEST English Expression II Hope (啓林館)					
使用副教材	VISION QUEST Work book(啓林館) , Next Stage (東京書籍)					

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するよう、具体的な言語の使用場面を設定し、即興で話したり、様々な種類の文章を書いたり、学んだことや経験したことを基にして事実や考えを発表したり、それに対する意見を述べあったりする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

様々な表現方法を身につけ、練習問題で定着させる。また、即興の英作文や与えられた主題について即興で話せるよう、語彙等を習得する。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみる。また、授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより、表現の幅を広げる。

# 3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

定期考査60%、単語テスト20%、提出物10%、授業態度10%

評価における定期考査の割合

60 %

# 4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 関心・意欲・態度

コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

(2) 思考・判断

英語を聞いたり、読んだりして、情報や考えなどを的確に理解し、判断している。

(3) 技能・表現

英語で話したり、書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。

(4) 知識・理解

英語やその運用についての知識を身につけているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	コ	表	理	知	○△×
1	4	Lesson 1 主語を決める You have several traditional events.	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な主語の作り方を学び、表現方法を増やす。</li> <li>日本の伝統行事について紹介する英作文をする。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○	○	
	5	Grammar Focus 1 名詞と冠詞  (第1回考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な名詞や冠詞の特性を知り、適切に使えるようにする。</li> </ul>		○		○	
	6	Lesson 2 動詞を決める① How did your work experience go?	<ul style="list-style-type: none"> <li>動詞による文の構成の違いを知り、適切に使用できるようになる。</li> <li>自分が参加したクラブ活動や課外活動の感想を英語で書く。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
		Lesson 3 動詞を決める② Let me tell you a story.	<ul style="list-style-type: none"> <li>使役などの動詞の応用を学び、適切に使えるようにする。</li> <li>与えられた絵と書き出しに続けて英作文を行う。また、他者に向けて分かりやすいように読む。</li> </ul>			○		○
2	7	Grammar Focus 2 主語と動詞の呼応 時制の一致	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語表現により変わる動詞や、主節の動詞による従属節の表現の変化を学ぶ。</li> </ul>		○		○	
		Lesson 4 動詞の形を決める① I want to work as an air traffic controller.	<ul style="list-style-type: none"> <li>結果として同じ日本語表現になる英語を自分の伝えたいことに応じて使い分けられるようになる。</li> <li>自分の将来の夢について書けるようになる。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
	10	(第3回定期考査) Lesson 5 動詞の形を決める② I wish I could have such an experience again.	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞や仮定法を用いて、主観的な考えの表現を学ぶ。</li> <li>事実とは異なることについて英作文をする。また、それについての他者からの質問に答える。</li> </ul>		○	○	○	
	11	Grammar Focus 3 受動態  (第4回考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>能動態との違いや、日本語の受動態に対応する英訳のやり方などを学ぶ。</li> </ul>		○		○	
	12	Lesson 6 修飾語を加える① This is a photo taken in Vancouver, Canada.	<ul style="list-style-type: none"> <li>修飾語となる表現や関係施設について学び、適切に使えるようになる。</li> <li>自分の思い出の写真について英作文をする。また、それについての他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
3	1	Lesson 7 修飾語を加える② Are cell phones an essential part of our lives?	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な副詞句や副詞節を学び、適切に使い分けられるようになる。</li> <li>スマートフォンをはじめとする情報端末の長所と短所について英作文をする。また、それについて、他者と意見を交換する。</li> </ul>	○	○	○		

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語表現 I	単位	1 単位
対象コース	情報ビジネス	コース	対象クラス	3 年	5 組
使用教科書	Revised Vision Quest English Expression I Standard (数研出版)				
使用副教材	総合英語Vision Quest (数研出版)				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

<p><b>学習目標：</b>この科目を学習して何を身につけてほしいのか</p> <p>英語表現 I の復習となります。英語の知識を体系化し、事実や意見などを多様な観点から考察して、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。</p>
<p><b>学習内容：</b>この科目で学習する大まかな内容</p> <p>まずModel ConversationとListening Taskを通してダイアログの内容とそのレッスンで習得する内容を確認します。PronunciationやFunctionを通して発音や英語の元として持つ機能について学習します。これは自分が発信する場合にはもちろん、英語を聞き取る場面でも大変必要な知識となります。Build-upとそれに続くPracticeではそのレッスンの文法的側面から学習します。Use Itを通して文法に基づいた確認作業や運用練習をした後、Expressing, Activityを通して与えられた話題について新しく得た知識なども取り入れて、積極的にコミュニケーションを図る練習をします。</p>
<p><b>学習方法：</b>この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか</p> <p>(1) 学校 習ったことを積極的に使う 授業内には活動の場が多く取り入れられています。今習ったことをその場で使うことで自分の身につけることができます。 メモの取り方に工夫をする 教科書は左が説明、右がPracticeなどの演習となります。板書だけでなく、間違ったところや重要なところは線を引いたり、メモをするなど授業を聞く際も積極的な姿勢が必要です</p> <p>(2) 家庭 予習、復習を必ず行いましょう 予習は教科書のPracticeがそれにあたります。教科書のBuild Upや参考書総合英語Vision Questを参考に自分で解きましょう。</p>

# 3 この科目の評価方法について

<p><b>評価方法：</b>何を使って評価するのか</p> <p>定期考査60% パフォーマンス点10% 課題提出20% 例文小テスト10%</p>
<p>評価における定期考査の割合</p> <p>60 %</p>

# 4 この科目の評価の観点について

<p><b>評価の観点：</b>この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか</p> <p>(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度 主に授業中の活動を通して評価します ①間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている ②積極的に周囲とコミュニケーションを図ろうとしているかが評価の観点となります(10%)</p> <p>(2) スピーキングやライティングを通して計る表現の能力 Use ItやExpressing, Activityでの発表を通して評価します(10%) ①英語らしい発音で発話している ②自分のことや与えられた課題について話す ③紹介するトピックを決めて、原稿を準備し発表する ④学んだ文法を使って、文章を書くことが出来る</p>
---

(3) リスニングやリーディングを通して計る理解の能力

授業中の課題の点検や提出された課題の内容などを通して評価します。またListening Taskや周囲の活動の理解度なども評価の参考とします(10%)

(4) 言語や文化についての知識・理解

小テスト(10%)や定期考査(60%)また授業中の課題の解答確認などを通して評価します。それぞれのページで学んだ文法を理解し、それを知識として定着させている

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	表	理	知	○△×
1	4	Follow-up	・年間の復習及び発展の内容を確認します。	●	●	●	●	
	5	lesson 10 How do you spend Christmas?(4時間)	[話題] 文化：Model Conversationで日米の冬の行事について紹介し、文化の違いについての会話を学ぶ。Expressingでは日本文化や行事の紹介ができる。 [発音] 聞こえなくなる音：語尾の子音が次の語との関係で発音されなくなるものを学ぶ。英語ではよく語と語がまとまって発音されることを知り、その聞き取りができる。 [機能] 説明する：頻出表現を学び、語句の意味を説明したり物事の理由を明らかにしたりできる。 [文法] 関係詞：関係詞を用いた複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。	●	●	●	●	
	6	第1回定期考査 lesson 8 How about going to see a musical?(5時間)	[話題] 娯楽：Model Conversationで娯楽への誘い方を学ぶ。Expressingでは趣味について話し合ったり、友人を遊びに誘うメールを書いたりできる。 [発音] つながる音：英語では前の語の語尾の子音と次の語の語頭の母音がつながって発音されることが多い。つながる音の聞き取りや発音に慣れる。 [機能] 勧誘する/申し出る：頻出表現を学び、相手に対して勧誘したり提案したりできる。また、適切に了承したり断ったりできる。 [文法] 動名詞：動名詞のさまざまな用法を学び、動名詞句を用いて多様な文を作ることができる。	●	●	●	●	
2	7	lesson 7 It's very nice of you to say so. (5時間)	[話題] 交際：Model Conversationでパーティーに招待された時やプレゼントを渡す時の会話の流れを学ぶ。Expressingの活動でプレゼントへのお礼を伝えることができる。 [発音] アクセント：アクセントを間違えやすい単語を、正しく発音できる。 [機能] 感謝する/謝罪する：頻出表現を学び、相手に感謝や謝罪の気持ちを適切に伝えることができる。また、それに対する返答ができる。 文法 不定詞：不定詞のさまざまな用法を学び、意味上のS+Vを含む文を作ることができる。慣用表現を用いて伝えたいことを1文で表すことができる。	●	●	●	●	
	8	第2回定期考査						
	9	第3回定期考査						

3	10	Lesson 6 I'm so glad I can see the Sydney Opera House. (6時 間)	<p>[話題] 観光：Model Conversationで観光地での案内人との会話の流れを学び、名所について説明を聞いて感想を表せる。Expressingの活動で観光地の案内ができる。</p> <p>[発音] 数字の発音：時間・日付・価格などで用いられる、発音が紛らわしい数字の読み方を学び、適切な発音・アクセントで発話できる。</p> <p>[機能] 喜ぶ／驚く：頻出表現を学び、喜びや驚きの気持ちを表すことができる。また、それに応じた相づちを打つことができる。</p> <p>[文法] 受動態：受動態のさまざまな文の作り方を学び、必要に応じて使うことができる。感情表現など、日本語と英語の違いに気を付けて表現することができる。</p>	●	●	●	●
	11						
	12 1	第4回定期考査					

# 1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語表現Ⅱ	単位	4 単位
対象コース	美術	コース	対象クラス	3 年	6 組
使用教科書	VISION QUEST English Expression II Hope (啓林館)				
使用副教材	Vision Quest総合英語Ultimate (啓林館)				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

**学習目標：**この科目を学習して何を身につけてほしいのか

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

**学習内容：**この科目で学習する大まかな内容

情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するよう、具体的な言語の使用場面を設定し、即興で話したり、様々な種類の文章を書いたり、学んだことや経験したことを基にして事実や考えを発表したり、それに対する意見を述べあったりします。

**学習方法：**この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

様々な表現方法を身につけ、練習問題で定着させていきます。また、即興の英作文や与えられた主題について即興で話せるよう、語彙等を習得していきましょう。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみましょう。また、授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより、表現の幅が広がります。

# 3 この科目の評価方法について

**評価方法：**何を使って評価するのか

1. 査査得点 (60%) 年4回の査査の得点に基づきます。
2. 提出物 (20%) 定期的な課題の提出状況に基づきます。
3. 小テスト (10%) レッスンで行われる小テストや毎週木曜日に行われるNext Stageの点数に基づきます。
4. 授業態度 (10%) 普通の授業での各活動への参加状況に基づきます。

評価における定期査査の割合

60 %

# 4 この科目の評価の観点について

**評価の観点：**この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

(2) 外国語表現の能力

外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。

(3) 外国語理解の能力

外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。

(4) 言語や文化についての知識・理解

外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

## 5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	コ	表	理	知	○△×	
1		Lesson 1 主語を決める You have several traditional events.	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な主語の作り方を学び、表現方法を増やす。</li> <li>日本の伝統行事について紹介する英作文をする。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○	○		
		4 Grammar Focus 1 名詞と冠詞  (第1回考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な名詞や冠詞の特性を知り、適切に使えるようにする。</li> </ul>		○		○		
		5 Lesson 2 動詞を決める① How did your work experience go?	<ul style="list-style-type: none"> <li>動詞による文の構成の違いを知り、適切に使用できるようになる。</li> <li>自分が参加したクラブ活動や課外活動の感想を英語で書く。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○			
	2		6 Lesson 3 動詞を決める② Let me tell you a story.	<ul style="list-style-type: none"> <li>使役などの動詞の応用を学び、適切に使えるようにする。</li> <li>与えられた絵と書き出しに続けて英作文を行う。また、他者に向けて分かりやすいように読む。</li> </ul>			○	○	
			7 Grammar Focus 2 主語と動詞の呼応 時制の一致	<ul style="list-style-type: none"> <li>主語表現により変わる動詞や、主節の動詞による従属節の表現の変化を学ぶ。</li> </ul>		○		○	
			8 Lesson 4 動詞の形を決める① I want to work as an air traffic controller.	<ul style="list-style-type: none"> <li>結果として同じ日本語表現になる英語を自分の伝えたいことに応じて使い分けられるようになる。</li> <li>自分の将来の夢について書けるようになる。また、それを読んで、他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
			9 Lesson 5 動詞の形を決める② I wish I could have such an experience again.	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞や仮定法を用いて、主観的な考えの表現を学ぶ。</li> <li>事実とは異なることについて英作文をする。また、それについての他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○		
3	10	9 Grammar Focus 3 受動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>能動態との違いや、日本語の受動態に対応する英訳のやり方などを学ぶ。</li> </ul>		○		○		
		Lesson 6 修飾語を加える① This is a photo taken in Vancouver, Canada.  (第3回考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>修飾語となる表現や関係施設について学び、適切に使えるようになる。</li> <li>自分の思い出の写真について英作文をする。また、それについての他者からの質問に答える。</li> </ul>	○	○	○			
		Lesson 7 修飾語を加える② Are cell phones an essential part of our lives?	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な副詞句や副詞節を学び、適切に使い分けられるようになる。</li> <li>スマートフォンをはじめとする情報端末の長所と短所について英作文をする。また、それについて、他者と意見を交換する。</li> </ul>	○	○	○			

